



令和3年11月29日

砺波市長 夏野 修 様

砺波市総合計画審議会  
会 長 中村 和之

第2次砺波市総合計画後期計画（案）について（答申）

令和3年2月17日付け企第299号で諮問のありました件については、慎重に審議した結果、別添の第2次砺波市総合計画後期計画（案）を妥当であるものとして答申いたします。

なお、計画の推進にあたっては、基本理念を踏まえ、砺波市が目指す将来像である「～庄川と散居が織りなす花と緑のまち～ もっと元気 ほっと安心 ずっと幸せ “やっぱり砺波”」を実現させ、全ての市民が「住みよさを実感し暮らし続けたいまち」であり続けるとともに、多くの人や企業、団体などから「選ばれるまち」となるよう、下記の点や審議の過程で各委員から出された意見に十分配慮いただき、取り組まれるよう要望します。

記

- 1 人口減少対策や次世代を担う健やかで心豊かな子供たちの育成、剪定枝戸別回収を含めた循環型社会の構築など、新たな10WAVEプロジェクトに掲げる施策は砺波市の重点的かつ優先的に取り組む施策であるため、各事業の着実な進捗に努められたい。
- 2 ウィズコロナ時代を見据えた新しい生活様式への対応や、SDGsの推進、デジタル技術を活用したDXによるSociety 5.0の実現など、新たな視点も加えながら、今後の施策を速やかに進められたい。
- 3 将来にわたり持続可能な地域社会を形成する原動力である、各自治振興会等を中心とした地域ぐるみでの取組への支援を推進し、砺波らしい地域力の高さや地域の特性を生かした発展と地域力の更なる充実・強化に努められたい。
- 4 各種計画の策定段階から、あらゆる世代や立場の市民の参画とニーズの把握に努めるとともに、市民・企業・行政が一体となり、助け合い、支えあう協働のまちづくりを引き続き積極的に進められたい。